



ルネ・マグリット「ジョルジュ」1935年



ジェームズ・アンソール「果物、花、裸にされた光」1936年

### 国富奎三コレクション

市内在住の国富奎三氏から寄贈を受けたコレクション。ルノワール、マティスなどフランス近代美術の作品が中心。年1回展覧会を開催し、全作品を展示しています。



クロード・モネ「アルジャントウイユの泊地の夕日」1874年

### ご利用案内

- 開館時間/午前10時▶午後5時(入場は午後4時30分まで) ※6月→8月は午後6時まで(入場は午後5時30分まで) 喫茶コーナー/午前9時30分▶午後4時30分
- 休館日/毎週月曜日(ただし祝日・休日は開館) 祝日の翌日・年末年始

### ■観覧料

館藏品展	一般	200円(160円)
	高・大学生	150円(120円)
	小・中学生	100円(80円)

※( )内は20名以上の団体料金

企画展 その都度設定

### ■交通のご案内



- 車でお越しの方は、中国自動車道 福崎ICより播但連絡自動車道で砥堀ランプ下車約15分。山陽自動車道 姫路東IC下車約15分。阪神高速・姫路バイパス中地ランプ下車約15分。
  - JR・山陽電車姫路駅より徒歩約20分、神姫バス国立病院・美術館線由系統乗車約6分、「国立病院・美術館前」下車すぐ。
- ※美術館には駐車場はありません。姫山公園駐車場(有料)等をご利用下さい。



### 美 姫路市立美術館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25  
TEL. 0792-22-2288 FAX. 0792-22-2290  
http://www.city.himeji.hyogo.jp/art/

### 姫路市立美術館

HIMEJI CITY MUSEUM OF ART

## 所蔵作品から

姫路市立美術館では、姫路及び周辺地域出身の作家の作品をはじめ郷土に関わりのある作品を収集しています。また、国内外の名品にも収集の幅を広げてまいりました。海外姉妹提携都市のあるベルギーの美術に焦点をあて、デルヴオーを中心に、マグリットなど著名作家から現代作家に至るまで、収集を進めています。



東山焼「祥瑞写共蓋水指」江戸末期



松岡映丘「道成寺」1917年



橋本関雪「薄暮」1938年頃



菅井 汲「鬼」1957年



飯田操朗「アトリエ」1933年



パブロ・ピカソ「貧しき食事」  
1904年



杉全 直「眼 No.15」1960年



須田国太郎「棒」1932年頃



ポール・デルヴオー「海は近い」1965年



フェルナン・クノッフ  
「天井画・絵画、詩歌、音楽」  
1880年



オーギュスト・ロダン「歩く男」  
1878年頃



アントワース・ブールデル  
「横たわるセレーネ」1917年



エドワード・ムンク「橋の上の少女たち」1920年



白鷺にとえられる世界文化遺産・国宝姫路城を仰ぐ赤レンガの美術館—姫路市立美術館は、昭和58年の開館以来多くのご利用をいただいております。

当館は市の中心部に位置する交通至便の場所にありながら、特別史跡姫山公園の自然が四季折々の表情を見せる贅沢な周辺環境を誇ります。美術館の建物は、かつて旧陸軍第10師団の倉庫として使用されていたもので、戦後は姫路市役所に転用されていました。市庁舎の新築移転にともない美術館として再生され、城周辺の景観とともに保存整備されました。前庭から、広い空の下に近世日本建築を代表する姫路城と明治大正の面影を残す美術館の建物が並び望めるさまは歴史の重みを感じさせ、心の豊かさを求める人々をいざなう絶好のプロムナードとなっています。



#### ●企画展示室

地域住民に優れた作品を身近に鑑賞する機会を提供するため、各種の特別企画展を開催しています。また、姫路市美術展を開催したり、美術団体の展示に会場を提供し、地域の美術の拠点として活用されています。



#### ●常設展示室

郷土ゆかりの作家作品をはじめ、内外の優れた作品を系統的に収集し、充実をはかっている館蔵品を随時公開しています。





## 普及活動

美術館では、講演会、講座、解説会など様々な催しを開催しています。また、友の会を組織し、実技講座、講習会など会員対象の事業を定期的に行うほか、ボランティア活動にも力をそそいでいます。



●講演会



●ミュージアムコンサート



●ボランティア解説会



●実技講座



●子ども鑑賞会



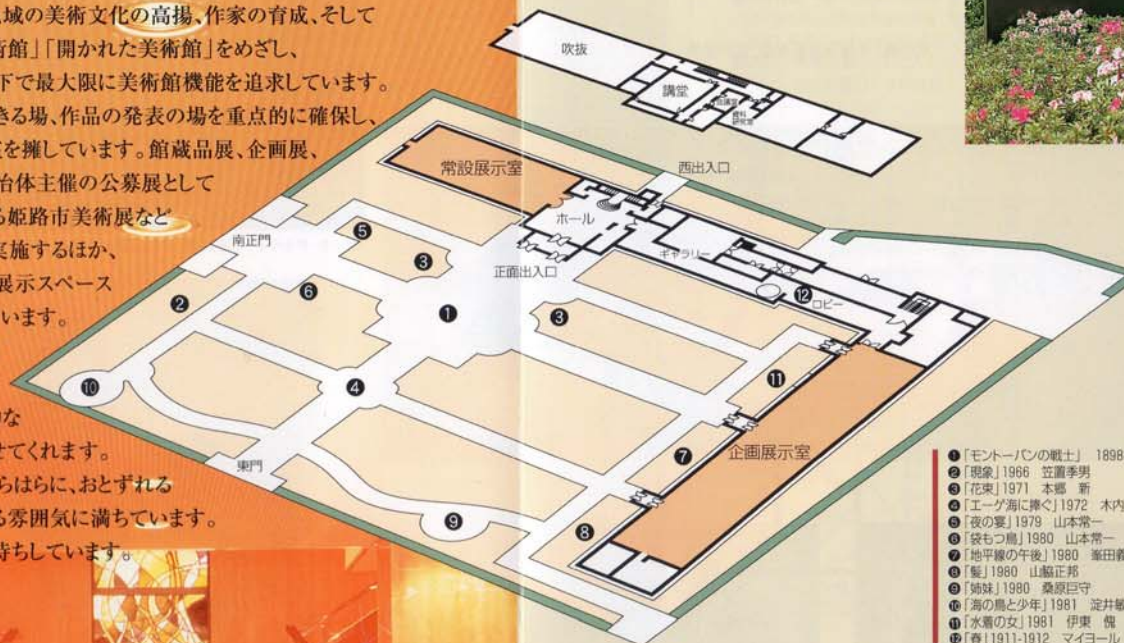
●研修旅行

※催しの予定、参加方法等については、お問い合わせ下さい。

## 姫路市立美術館 友の会

美術を愛好する人たちが集まり、鑑賞と学習を通じて教養と親睦を深めることを目的に組織されています。また会員有志によるボランティア活動、賛助会員制度等を通じ、美術館運営に協力し地域の文化向上に大きく寄与しています。入会は随時（ボランティア会員の場合は申し込み期間あり）、年会費制（賛助会員をのぞく）となっています。詳しくはお問い合わせ下さい。

姫路市立美術館は、地域の美術文化の高揚、作家の育成、そして「愛され親しまれる美術館」「開かれた美術館」をめざし、既存建築空間の条件下で最大限に美術館機能を追求しています。作品に接することのできる場、作品の発表の場を重点的に確保し、常設、企画の二展示室を擁しています。館藏品展、企画展、特別企画展、そして自治体主催の公募展として全国有数の歴史を誇る姫路市美術展など多彩な展覧会を企画実施するほか、貸館機能も兼ね備え、展示スペースは高い利用率を示しています。また前庭に設置された野外彫刻群は周囲の環境と調和して開放的な展示の魅力を満喫させてくれます。館内は重厚な外観とうらはらに、おとずれる人々をあたたく迎える雰囲気に満ちています。みなさまのご来館をお待ちしています。



- 「モントーアの戦士」1898-1900 ブールデル
- 「現象」1966 笠置季男
- 「花束」1971 本郷 新
- 「エーグ海に捧ぐ」1972 木内 克
- 「夜の宴」1979 山本常一
- 「寝もつ鳥」1980 山本常一
- 「地平線の午後」1980 峯田義郎
- 「髪」1980 山崎正邦
- 「姉妹」1980 桑原巨守
- 「海の鳥と少年」1981 淀井敏夫
- 「水着の女」1981 伊東 傀
- 「春」1911-1912 マイヨール



●講堂



●ロビー

■施設概要 ●構造/鉄骨・鉄筋コンクリート造、平屋建（一部2階建）、日本瓦葺 ●敷地面積/14,984㎡（うち庭園11,565㎡） ●建築面積/2,945㎡ ●延床面積/3,023㎡ ●展示室床面積/1,370㎡（常設展示室418㎡、企画展示室952㎡） ●会議室面積26.9㎡（15人収容） ●講堂面積113.7㎡（100人収容）

